

Title	阪大法学 65巻 2号 既刊目次/奥付
Author(s)	
Citation	阪大法学. 65(2)
Issue Date	2015-07-31
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/75436
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

既刊目次
第六五卷 第一号 (通卷第二九五号)

論説

労働法とその周辺 (一〇) 小島 典明

国際法における“unit self-defence”の
法的性質と意義 和仁健太郎

訴訟手続監用法理の展開と「刑事手続打ち切り論」
——ニユージブライトにおける判例の動向を参考に—— 岩崎 正

株式・新株予約権の仮装払込みをめぐる法律関係 久保田安彦

FRAND宣言された標準必須特許に基づく
差止請求権の権利濫用法理による制限
——韓国「サムスン対アップル事件」を素材とした
日本法との比較研究—— 申 賢哲

公法学におけるコントロール概念の展開 (三・完)
——ドイツにおける一九九〇年代以降の議論—— 柴田 堯史

韓国における公共調達制度の現状と改革 (二・完)
——ドイツと日本の制度から示唆を得て—— 金 守弘

インダス川水系キエンガンガ計画事件判決の
国際法上の意義 (二・完) 鳥谷部 壤

水力発電計画の合法性及びダム下流における
河川環境の法的保護 宮村 教平

行政による規範定立の再定位 (二・完)
——法規命令と行政規則の法的拘束力—— 宮村 教平

観点から見た再構築 宮村 教平

資料

民族から見る中国近現代史研究 田中 仁

近代内モンゴルにおける歴史の真実と認識の「真実」
——ブフヘシクの死因に対する異論—— 周 太平

公共部門における法律専門家 高橋 明男

その養成と役割の国際比較 (五)
公的部門における法律専門家 宮川成雄

日本における養成と役割について 宮川成雄

パネルディスカッション

(五十音順)

評議員

[illegible]

本体一、七〇〇円（税別）

代表者 竹中 浩

電〇六(六八五〇)五一七八

(株)富山房インターナショナル

吉祥院池田南町一三

発行所 大阪大学法学会

電〇六(六八五〇)五一七八